私にとってのイスラーム

【アッサラーム アライクム】

アッサラーム アライクム というのは、 「あなた方の上に平安がありますよう に」という意味のアラビア語です。

私たちイスラーム教徒は、この挨拶でお 互いを祝福し合います。

イスラームというのは神に帰依するという意味です。

アッサラーム アライクム

挨拶の言葉

あなた方の上に平安がありますように・・という意味のアラビア語

お返しに ワ アライクム サラーム

【モスク】

お寺や寺院にあたる場所をモスクといい、金曜日のお昼にジュムアという集団礼拝が行われます。イスラームの基本教義は、日本語でコーランと呼ばれている、クルアーンという聖典に示されています。クルアーンというのはます。クルアーンというのはます。が、預言者ムハンマドが神から直接です。





【クルアーン (コーラン)】



開端章

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

万有の主(あるじ)、アッラーにこそ凡ての称賛あれ、

慈悲あまねく慈愛深き御方、

最後の審きの日の主催者に。

わたしたちはあなたにのみ崇め仕え、あなたにのみ御助けを 請い願う。

わたしたちを正しい道に導きたまえ、

あなたが御恵みを下された人々の道に、

あなたの怒りを受けし者、また踏み迷える人々の道ではなく。

【5つの行】

イスラームが守るべき基本として、5行というもの があります。

1. 信仰告白

シャハーダといって、神は唯一でありムハンマドは 神の最後の預言者であると証言します。

1. 信仰告白(シャハーダ)

神は唯一でありムハンマドは神の最後の預言者であると証言します。

Ash-had an-la ilaha illa-llah wa ash-had anna Muhammadan Rasuwlu-llah

・アッラー: 唯一の神、万有の主、創造主を指す、 クルアーンの言語であるアラビア語。

WING THE REAL PROPERTY OF THE PARTY OF THE P

イスラームの5行

イスラームが守るべき基本

- 1. シャハーダ(信仰告白)
- 2. サラート(礼拝)
- 3. ザカート(喜捨)
- 4. サウム(断食)
- 5. ハッジ(巡礼)

2. 礼拝

1日5回決まった時間があります。

暁の時、お昼、午後、日没後、夜の5回ですが、その時間にできなかった場合は、後でまとめてやることもあります。

お祈りの前には、ウドゥーをします。

ウドゥーというのは、1日5回のお祈りの前に、手・ロ・鼻・目・耳・頭・そして足まできれいに清めることです。水はたまり水でなく流れる水を使います。

これは、常に清潔さを保ち、 病気を遠ざけるイスラーム の知恵でもあります。

2. 礼拝(サラート)

- 一日に五回が原則
- ○暁、お昼、午後、日没後、夜
- O できなかった時には、まとめることも

【ウドゥー】 礼拝にさきだって、手・ロ・鼻・目・耳・頭・足を、 流れる水で洗い浄める。

←清潔さを保ち、病気を遠ざけるイスラームの知恵

理由:

- イスラ 一ムの真髄は神の存在を認め、神に帰依する。
- 実践するための最も直接的な手段が礼拝
- 〇一日一回の礼拝では、創造主を忘れがちになる。

3. 喜捨

ザカートとサダカがあり、生活に困っている人たちを救うための税金のようなものです。

生活に困窮していない人には、 年間収入の 2.5%を、困ってい る人たちのために寄付するこ とが義務づけられています。

生活に困っている人は、ザカートによって生活費を助けてもらうわけですが、では、困っている人たちには喜捨の義務がないのかというと、そうではありません。

お金で払えない人は、農作物などで払います。

3. 喜捨(ザカート)

- ■生活に困っている人たちを救う税金のようなもの
 - ・年間収入の2.5%を、困っている人たちに
 - ・お金で払えない人は、農作物などで
 - 人に親切な言葉をかけたり、いたわったり
 - ・人に挨拶をし、悪いことをしないように自分を戒める
- ■人間は神の前に完全に平等
- ■力や富は弱いものを守るために使われるべき預かりもの
- ■神さまに喜んでいただくために



それもできない人は、隣人に親切な言葉をかけたり、いたわったりします。

それも無理な人は、人に挨拶をし、悪いことをしないように自分を戒める・・これもサダカです。

イスラームでは、人間は神の前に完全に平等であると教えています。

富や力の差は意味のあることで、富は喜捨として良いことに使われるために、力は弱いものを守るために使われなければなりません。富も力は神から預かったものであり、その預かり物を自分のためだけに使うようなことがあってはならず、神さまがよろこんでくださるように使えば、来世での平安につながりますし、誤った使い方をすれば、現世で悔いが残るだけでなく、来世で苦しみを背負うことになります。

イスラームの国で、こういう話があります。

おばあさんが道を渡ろうとしているのですが、途切れることのない車に、おばあさんはひとりで道を渡れず、通りかかった若者に、自分の手を引いて道を渡って欲しいと頼みました。若者は、気がつかなくてすみません・・と詫びて、おばあさんの手を引いて道を渡りました。みんながこういう考えを持てば、電車の中で若者が座っていて、高齢の方が立っているというような状況はなくなりますよね。イスラームでは、弱い者を守ることと周囲との協調が何よりも重んじられています。

4. 断食

イスラーム暦の9月、ラマダーンとよばれる月に断食をします。

預言者ムハンマドがはじめ てクルアーンを啓示された のが、このラマダーン月で す。

この30日間は聖なる月とされ、日の出前から日没までの間、一切の食べ物・水・欲望を断ちます。

イスラムのヒジュラ暦での 月は、月の運行を基準とし ますから西洋の暦からは毎 4. 断食(サウム)

・イスラーム暦の九月(ラマダーン)のひと月
預言者ムハンマドがはじめてクルアーンを啓示された月

・日の出前~日没の間
・一切の食べ物・水・欲望を断つ

まなかの3分の1を食べ物で、3分の1を水で、そしてのこりは神さまの愛で満たしなさい。

食べ物や水を得ることのできない人たちを想って断食

年 || 日ほど前倒しにずれていきますので、夏の断食時間は、冬の断食時間より、日本では何時間も長くなります。

ふだんでもイスラームでは、おなかの3分の | を食べ物で、3分の | を水で、そしてのこりは神さまの愛で満たしなさいと教えています、これはなかなかできません。

おなかをいっぱいにしすぎると、精神は飢えていくと言われています。

特にこのラマダーン月は、十分な食べ物や水を得ることのできない人たちを思って断食します。

そして、近くに生活に困っている人がいれば、できるだけの援助をします。

モスクでは、この間毎日イフタールという断食開けの夕食が用意されます。

貧しくて普段ちゃんと食べられない人たちも、この期間モスクで食べることができます。

援助者がなく困っている人たちは、モスクで喜捨されたお金を分けてもらうことができます。 イスラームの考え方としては、喜捨した方がされた方に感謝します。

なぜなら、神さまからの預かりものである富を、正しくサダカ喜捨することによって、来世での平安を得るチャンスをもらったことになるからです。イスラームの国では、哀れみの気持ちから何かをしてあげるというのではなく、善行を行う機会をくださったという感謝の気持ちで施しをします。ですから施しを受けた人も、負い目を持つことはありません。

嘘を言って施しを受けすぎることはしません。アッラーが全てご存知だからです。アッラー というのはアラビア語で神のことです。 身体の弱い人、病気を患っている人、生理中の女性、旅行中の人は、断食が免除されます。 無理をして、身体に害をなす断食は意味がないということなのです。

イスラームは規律が厳しいと思われがちですが、イスラームでの決まりは、こうしなければならない・・というものではなく、この方があなたのために良いですよ・・という指標のようなものと考えていただければ良いと思います。

もちろん規律を厳格に守ろうとするムスリムもいますが、律法主義に陥ってしまい、狭い心 になることこそ厳しく戒められています。

5. 巡礼

ハッジとよばれますが、財力がある人は、事情の許す限り、一生に一回決められた時期に聖 地マッカに巡礼します。

5. ハッジ(巡礼)

- 聖地マッカ
- ■事情の許す限り、ムスリムは一生に一回は決められた時期に 巡礼をし、アッラーへの帰依の心と精神的な喜びを培う。



クルアーンには、キリスト教の旧約聖書・新約聖書、そしてユダヤ教のタルムードの内容が 沢山書かれています。イスラームでは、啓典の民つまりユダヤ教徒、キリスト教徒とイスラ ム教徒は兄弟のようなものと理解しています。本来この3つの宗教同士で争うことなどある はずはないのです。

これはシリアのウマイヤモスクの内 部で、モスクというとムスリムが祈り を捧げる場所ですが、ここにはキリス トに洗礼を授けたバプテスマのヨハ ネの納骨堂があり、ムスリム達が偉大 な預言者の平安を祈っています。

ウマイヤモスク バプテスマのヨハネが祀られている。

【ジハード】

イスラームにジハードという言葉があります。おききになったことがあるかもしれません。 みなさんはどういう意味だと思っていらっしゃるでしょう?ジハードというのは、戦争する ことと思っている人もいるのではないでしょうか?

ジハードとは、アラビア語で神の道のために努力するという意味です。大ジハードと小ジハ ードの2種類があり、大ジハードは自分の心の中の悪と闘うこと、小ジハードはこの世界に ある悪と闘うことです。

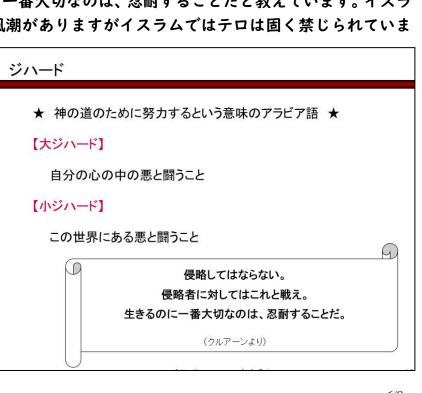
クルアーンでは、あなたは侵略してはならない、しかし侵略者に対してはこれと戦えと言っ ています。

またイスラームとして生きるのに一番大切なのは、忍耐することだと教えています。イスラ ーム=テロリストというような風潮がありますがイスラムではテロは固く禁じられていま す。

民衆を狙った自爆テロといわ れるものについて、現地のイ ラクで、私は、日本で聞いて いた報道とは全く違うという ことを知りました。

たとえば、検問所でチェック を受けた後の野菜を積んだ車 が、検問所で野菜と爆弾を入 れ替えられていたそうです。

その車は、買い物客で込み合



う市場に行く予定でした。時限装置がついていて、その人はびっくりして近くの畑に捨て、 その後爆発したそうです。

また政治犯として刑務所に連行された人が、容疑が晴れたので、地区のイラク警察署に行って署名を貰うように・・と言われて警察署に行く途中、自分の荷物に爆弾が仕掛けられているのを発見した・・などです。これらは偶然見つけることができ、この人たちは助かりました。

何も知らないで、時限爆弾や遠隔操作で爆破させられた人は、自爆テロの犯人ということに されても、爆発の犠牲になっているわけですから釈明はできません。

ムスリムは、天国へ行くことを最終目的としていますから、神に禁じられた最も大きな罪である、一般人の殺戮ということを行えば、自分が来世でどんな懲罰を受けるかと考えただけでも恐ろしいことなのです。ムスリムに許されている戦いは、侵略者に対してだけです。

イスラームの基本に、どんな時でも弱者を優先するということがあります。

たとえ敵であっても、武器を持たない捕虜は、弱者としての権利を持ちます。

投降してきた人や捕虜には、水や食べ物が少ない時でも、優先して与えることが義務となっています。

【イスラームに対する誤解】

ついでに良くあるイスラームに対する誤解についても少し触れておきたいと思います。

☆ イスラームはマホメットが創始した

マホメット教と呼ばれた時期もありましたが、ムハンマドは最後の預言者である、というだけです。

☆ 戒律が厳しく自由がないと思われている

上述したように、クルアーンに書いてあることは、このようにしたほうが良いということであって、アッラーを身近に感じるための方法であり、健康な生活をするための薦めのようなもの。これらは本来強制されているものではありません。

☆ 女性差別が激しい?

女性は体力的に男性より弱いので、女性を大事にする考えが根本にあります。近頃、女性専用列車ができましたが、これを差別だと思われるでしょうか?イスラームの女性が着るアバーヤという長いきものがありますが、これにも同じような考えがあります。男性は誘惑に弱いので、女性が身を守るために、身体の線を隠す長い上衣を着用します。

これは、性を売り物にしないという観点から考えたとき、男女ともに守られるという利点が あります。

でも、やはり強制されるものではありません。アバーヤ着用についてクルアーンは、その方があなた方のために良いとあります。身の危険がある時はイスラームであることを隠しても、アバーヤを着なくても、ブタを食べても良い。臨機応変な規則です。

イスラームに対する誤解?

☆マホメットが創始した?

←ムハンマドは最後の預言者

☆戒律が厳しく自由がない?

←アッラーを身近に感じるための方法ーー強制ではない。

☆女性差別が激しい?

←女性を大事にする考えが根本にある。 (近頃の女性専用列車は差別か?)